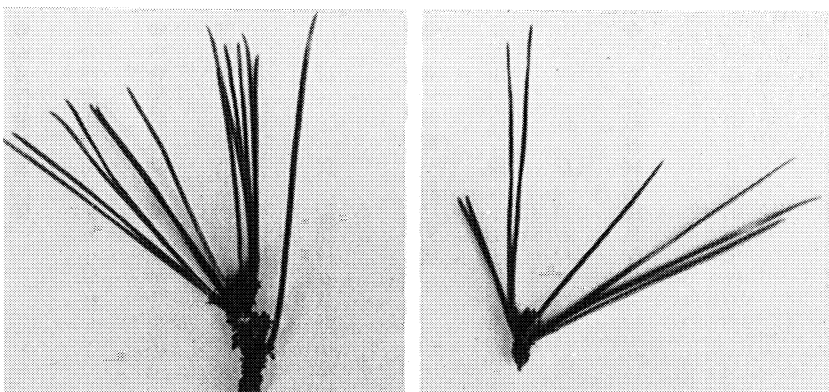


# 福島県の文化財

## 県指定天然記念物 泉の一葉松



昔、近隣を支配していた泉長者というものが弁慶によって滅ぼされ、そのとき弁慶が腰を掛けたという俗説があり、俗称を弁慶松ともいう。

この一葉松は、原町市の東方約四キロメートル余のところにある通路の北にあり、高さ約八メートル、根まわり約三メートル、枝張りは東に約三・二メートル、西に約十一メートル、南に約八メートル、北に約六・四メートルある。

二葉の間に一葉を交えている黒松で、一木中に一葉と二葉が共存するのは珍らしい。近江琵琶湖畔の唐崎の松（現在は枯損）に似た形態をなし、種類も同じである。

昭和三十年十二月二十七日、福島県天然記念物に指定され、現在も樹勢は盛んである。